

歴史教育シンポジウム「現代史認識と歴史教育」PART V 現代史の方法をめぐって
の開催について

- 1 主 催 日本学術会議史学委員会、日本歴史学協会
- 2 日 時 2009年10月17日(土) 13:30～17:00
- 3 会 場 東京大学教養学部(駒場キャンパス)18号館ホール
(東京都目黒区駒場3-8-1)

4 開催趣旨

日本学術会議史学委員会と日本歴史学協会主催の本シンポジウムは毎年恒例となっており、この間、一貫して「現代史研究と現代史教育」に焦点を当てて開催してきたが、今年は、現代史研究・教育を行う上で避けることができない、人々の体験・記憶そしてオーラルヒストリーという視点から、現代史研究・教育の新たな方法と新たな可能性について議論を深める。

5 次 第

開会挨拶(13:30～13:40)

櫻井 万里子(日本学術会議会員、東京大学名誉教授)

趣旨説明(13:40～13:50)

木村 茂光(日本学術会議第1部幹事、日本歴史学協会常任委員、東京学芸大学教育学部教授)

報 告(13:50～16:50)

(1) 中村 政則(一橋大学名誉教授)

「いまなぜ、オーラルヒストリーか？」

(2) 篠原 琢(東京外国語大学教授)

「共存の記憶と破局の経験ー東欧の20世紀をめぐってー」

(3) 滝澤 民夫(早稲田大学教育学部非常勤講師、元埼玉県公立高等学校教諭)

「戦時体験の記憶の継承と歴史教育の役割と課題」

閉会挨拶(16:50～17:00)

高埜 利彦(日本歴史学協会委員長、日本学術会議連携会員、学習院大学教授)

【参加申込方法】

参加申込は不要です。当日会場までお越し下さい。参加費は無料です。

【問い合わせ先】

東京学芸大学教育学部教授 木村 茂光 (kimura@u-gakugei.ac.jp)